

2013/9/19

柏の景気情報（平成25年8月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 経営支援二課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
TEL : 04-7162-3305
FAX : 04-7162-3323
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成25年8月分）

○ 調査期間 : 平成25年8月26日 ~ 8月30日

○ 調査対象 : 柏市内158事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	158	93	58.9%
建設	44	26	59.1%
製造	34	17	50.0%
卸・小売	44	33	75.0%
サービス	36	17	47.2%

○ 調査方法と調査表 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック(記述式)

$$DI値 = 1 \text{ 増加他の回答割合} - 3 \text{ 減少他の回答割合}$$

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※ DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【平成25年8月の調査結果のポイント】

〈業況DIは、原材料費上昇と、猛暑により後退〉

○8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲21.5(前月水準▲17.2)となり、マイナス幅が▲4.3ポイント拡大した。

業種別では、マイナス幅が縮小した業種は、製造業▲17.6(同▲23.5)である。変らない業種は、建設業△3.8(同△3.8)である。プラスからマイナスに転じた業種は、サービス業▲17.6(同△14.2)であり、マイナス幅が▲31.8ポイントと大幅に拡大した。マイナス幅が拡大した業種は、卸小売業▲45.4(同▲41.6)である。

【建設業】からは、「4月からずっと受注の少ない月が続いている。一部には駆け込み需要増との話もあるようだが、いままでになく受注は少なく、さらに工期の延期もある。駆け込み需要というより、様子を見ている感が強い。」(石工れんがタイルブロック工事業)、「景気回復の実感が無く、早く末端まで好況感がほしい。」(電気工事業)、「8月中旬は暑さにより熱中症対策をとった為、労働力が低下し、人件費が予定より増えてしまった。」(塗装工事業)、「受注工事件数は増加しているが、消費税決定後の工事件数の不安がある。」(その他の識別工事業)、「9月はお彼岸前の畳工事注文に期待しています。」(内装工事業)、「9月はお客様の半期の決算月で、仕事量が多く間に合わない。10月は落ち着いてくると思う。」(その他の識別工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「受注・引合が上向きだが、どれも短納期である。」(その他の機械・同部品製造業)、「インターネット商法が盛んになって来た昨今、価格競争が一段と厳しくなっている。創意工夫をこらさないと売上高になっても利益を上げられない結果になることもある。」(印刷業)、「正規から非正規(派遣社員)への切り替えを実施しております。」(電子応用装置製造業)、「円安による材料仕入れ価格が上昇傾向、秋口には更に上昇の可能性高い。」(紙製容器製造業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「地域連動で8/25(日)開催の“柏街ごとキッザニア”は、出足雨にもかかわらず動員・売上効果はもちろんのこと、多くの親子さんに好評をいただき満足して帰っていただくことができ、地域の活性化につながった。」(百貨店)、「羽織物が出ていないがジャケット代わりに数年ぶりにブラウスが品薄となっている。」(婦人・子供服小売業)、「夏物の秋色カラーの動きが多少ではあるがでてきている。」(その他の各種商品小売業)、「クリアランスが終了したが、お盆休みによる帰省客などファミリー客が増加し、レストランを中心に好調であった。」(その他の各種商品小売業)、「現在は主要品目(野菜)に育成の遅れがあり品薄傾向から高値基調、果実においても、一部豪雨の産地被害が出ているが、今後出荷予想のみかん、りんごに影響が出てきそうです。」(食料・飲料卸売業)、「8月にまとまった物件が同業他社に移り、1月から約200件位の消費者が減少している。増やす努力はしていますが、菌が立たない強敵が多く非常に苦戦している。」(燃料小売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「円安による原材料の価格が上昇、国内では異常気象の為、野菜価格の高止まり。」(食堂・レストラン)、「宿泊は、稼働は維持するものの販売経路のWeb比率が高くなり、一室単価を下げる要因となる。宴会は、昨年売り上げを維持。」(ホテル)、「つくばエクスプレスの開通後沿線を中心に大型スーパーの出店で弁当、惣菜部門の強化により飲食関係に影響がでている。」(その他の飲食料品小売業)、「個人需要の国内旅行は9月・11月が前年超え、海外旅行は10月が前年150%超え、法人需要は秋口に増加傾向。」(旅行業)、「仕入れ単価は上昇しており、売値は変わらないので採算は悪化しています。」(不動産管理業)、「個人向け集合住宅をやっていることから言えるのですが、夏は外出していた世帯が多かった分、秋のレジャーは控えるのではないかと思います。」(不動産賃貸業)、「団塊世代の定年退職が始まり労働人口が本格的に減少し始めたとのこと。柏においては、然程感じないことですが、これから益々女性の社会進出が力ギになると思います。」(不動産賃貸・管理業)、「大手企業の動きはもがいていてチャレンジすることにとめらっていると思える。商品を創り出すことが勝利の道かも。」(ソフトウェア業)などのコメントが寄せられた。

◎猛暑の影響

各業種から、「猛暑の為か、休みが多かった為か、景況が悪化。」(内装工事業)、「暑さ厳しく日中人出少なく、午前中と夕方の商売となっている。」(婦人・子供服小売業)、「残暑厳しく、売れているのは食品の涼味商品ばかりだ。」(その他の各種商品小売業)、「8月度初旬は暑さも厳しかったことからセール商材の消化に繋がった。」(その他の各種商品小売業)、「例年にも増す暑さにより売上げ昨年より減少。この先の好転も期待薄。」(菓子・パン小売業)、「客数・売上共に微増、天候の影響が大きい。暑い夏だった為、アイス・ソフトドリンク・冷麺等が良く売れた。」(その他の各種商品小売業)、「猛暑の影響大、生物売上げ減。」(菓子・パン小売業)、「最近の天候が猛暑やゲリラ豪雨や干ばつと異常気象となって、青果物に大きな影響が出ています。」(食料・飲料卸売業)、「猛暑のせい、お客様からの問合せが減っています。」(不動産管理業)などのコメントが寄せられた。

◎材料費上昇

各業種から、「売上高は増加しているが、材料・その他経費の増大に利益は薄い。」(電気工事業)、「依然、材料高騰分の施工単価の見直しはない。」(その他の職別工事業)、「仕入れ価格上昇を販売価格に転嫁出来ず利益圧迫している。」(紙製容器製造業)、「野菜、輸入食材の値上げが原価を圧迫。」(ホテル)などのコメントが寄せられた。

◎人出不足

各業種から、「職人不足は何年も前から言われており、工期の平準化を各方面にお願いしているが、全く改善されない。」(石工れんがタイルブロック工事業)、「現在従業員が不足しているが、景況が今後良いかわからないので、下請け等で対応している。」(土木工事業)、「大手メーカー昇降機新規着工は、技術者不足で新規製品の受注調整を行っている。」(一般機械器具卸売業)などのコメントが寄せられた。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
3月	▲17.3	±0.0	▲11.1	▲35.2	▲11.7
4月	▲24.7	▲4.3	▲5.5	▲58.3	△8.3
5月	▲18.6	△12.5	▲27.7	▲51.5	△12.5
6月	▲20.2	▲18.1	△11.7	▲44.1	▲6.2
7月	▲17.2	△3.8	▲23.5	▲41.6	△14.2
8月	▲21.5	△3.8	▲17.6	▲45.4	▲17.6
見通し	△1.0	△23.0	△5.8	▲18.1	±0.0

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【平成25年8月の業況についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲21.5(前月水準▲17.2)となり、マイナス幅が▲4.3ポイント拡大した。

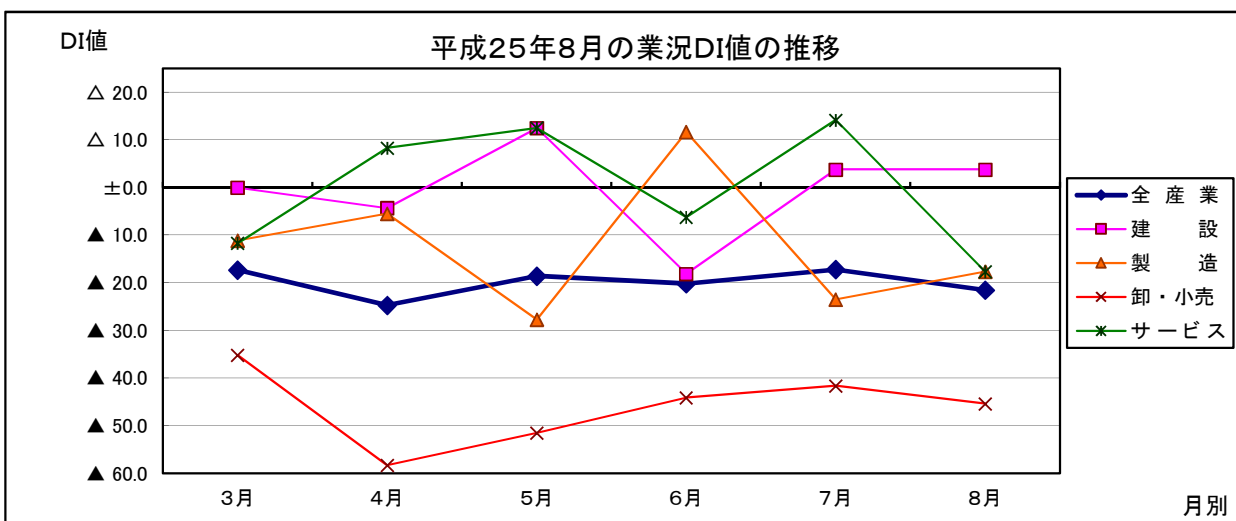
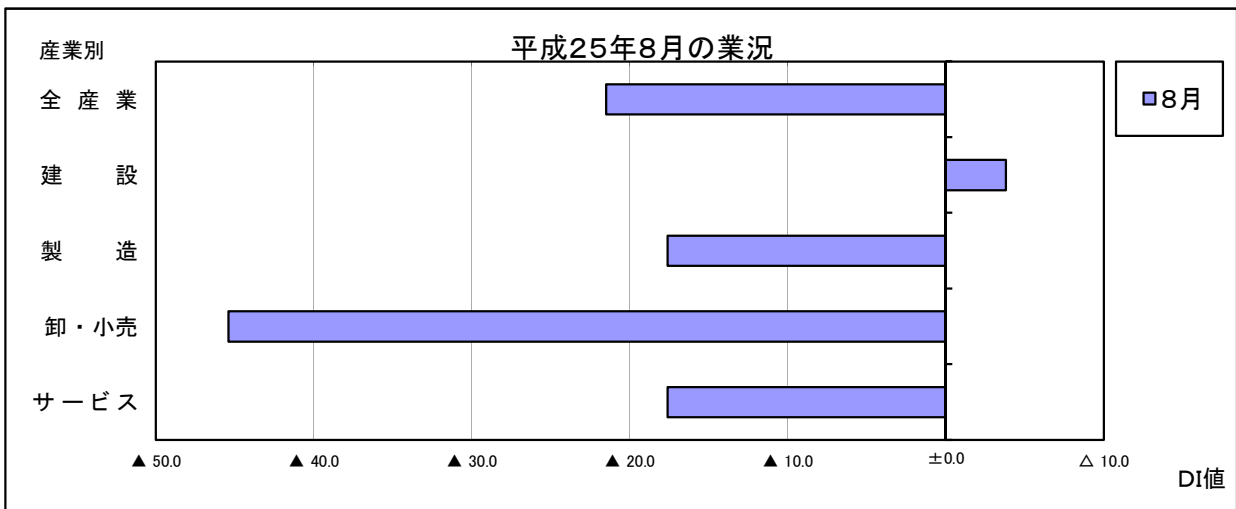
業種別では、マイナス幅が縮小した業種は、製造業▲17.6(同▲23.5)である。変らない業種は、建設業△3.8(同△3.8)である。プラスからマイナスに転じた業種は、サービス業▲17.6(同△14.2)であり、マイナス幅が▲31.8ポイントと大幅に拡大した。マイナス幅が拡大した業種は、卸小売業▲45.4(同▲41.6)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、△1.0(前月水準▲10.7)となり、マイナス幅が△11.7ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、建設業△23.0(同△11.5)である。マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、製造業△5.8(同▲29.4)であり、マイナス幅が35.2ポイントと大幅に縮小する見通しである。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲18.1(同▲22.2)である。変らない見通しの業種は、サービス業±0.0(同±0.0)である。

平成25年8月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成25年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲17.3	▲24.7	▲18.6	▲20.2	▲17.2	▲21.5	△1.0(▲10.7)
建設	±0.0	▲4.3	△12.5	▲18.1	△3.8	△3.8	△23.0(△11.5)
製造	▲11.1	▲5.5	▲27.7	△11.7	▲23.5	▲17.6	△5.8(▲29.4)
卸・小売	▲35.2	▲58.3	▲51.5	▲44.1	▲41.6	▲45.4	▲18.1(▲22.2)
サービス	▲11.7	△8.3	△12.5	▲6.2	△14.2	▲17.6	±0.0(±0.0)



【平成25年8月の売上についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲19.3(前月水準▲10.7)となり、マイナス幅が▲8.6ポイント拡大した。

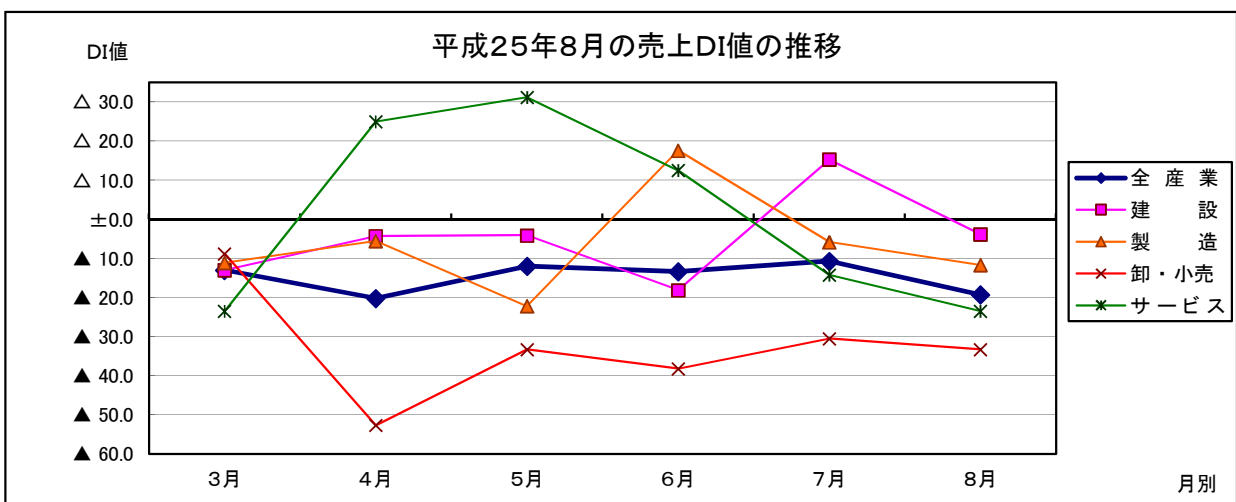
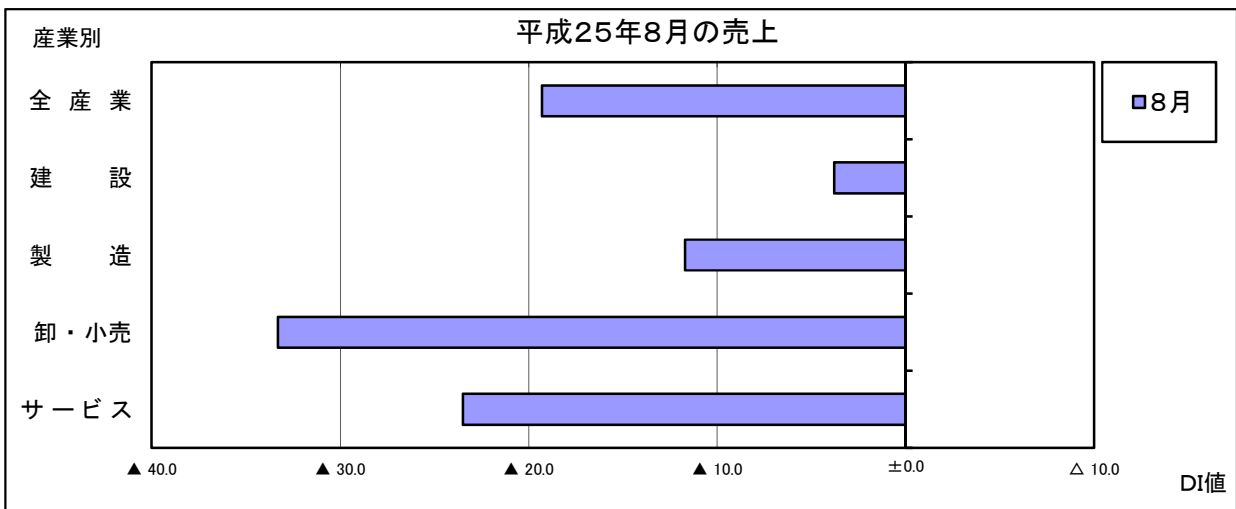
業種別では、前月水準と比べて、プラスからマイナスに転じた業種は、建設業▲3.8(同△15.3)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲23.5(同▲14.2)、製造業▲11.7(同▲5.8)、卸小売業▲33.3(同▲30.5)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、△8.6(前月水準▲2.1)となり、マイナス幅が△10.7ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業△23.5(同▲11.7)、サービス業±0.0(▲21.4)で、いずれもマイナス幅が、製造業△35.2ポイント、サービス業△21.4ポイントと大幅に縮小する見通しである。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲18.1(同▲22.2)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、建設業△38.4(同△42.3)である。

平成25年8月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成25年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲13.0	▲20.2	▲12.0	▲13.4	▲10.7	▲19.3	△8.6(▲2.1)
建設	▲13.0	▲4.3	▲4.1	▲18.1	△15.3	▲3.8	△38.4(△42.3)
製造	▲11.1	▲5.5	▲22.2	△17.6	▲5.8	▲11.7	△23.5(▲11.7)
卸・小売	▲8.8	▲52.7	▲33.3	▲38.2	▲30.5	▲33.3	▲18.1(▲22.2)
サービス	▲23.5	△25.0	△31.2	△12.5	▲14.2	▲23.5	±0.0(▲21.4)



【平成25年8月の採算についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲32. 2(前月水準▲23. 6)となり、マイナス幅が▲8. 6ポイント拡大した。

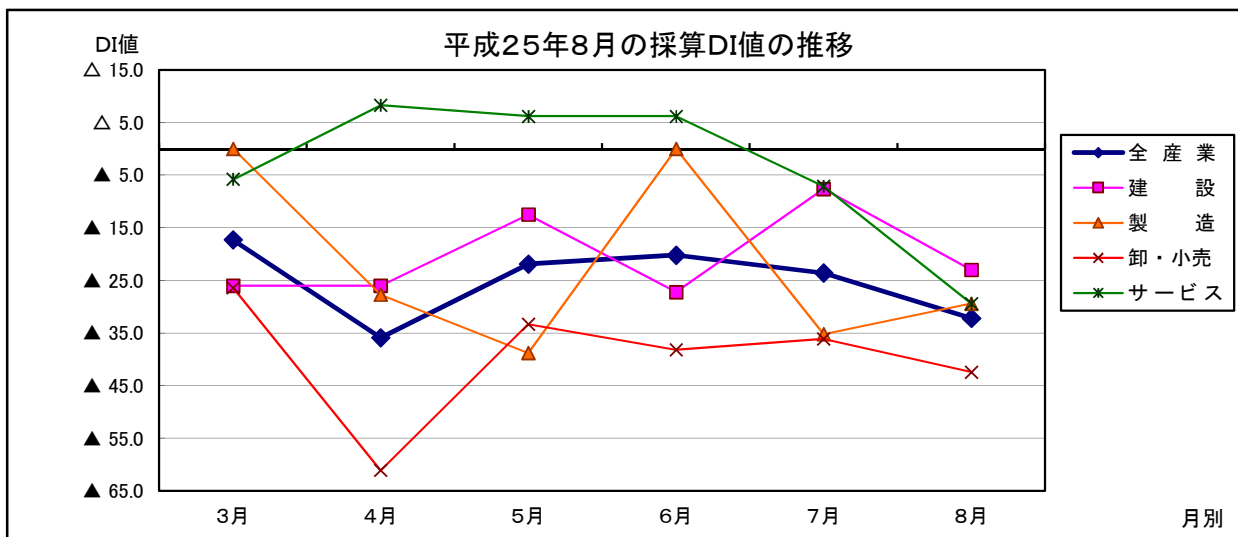
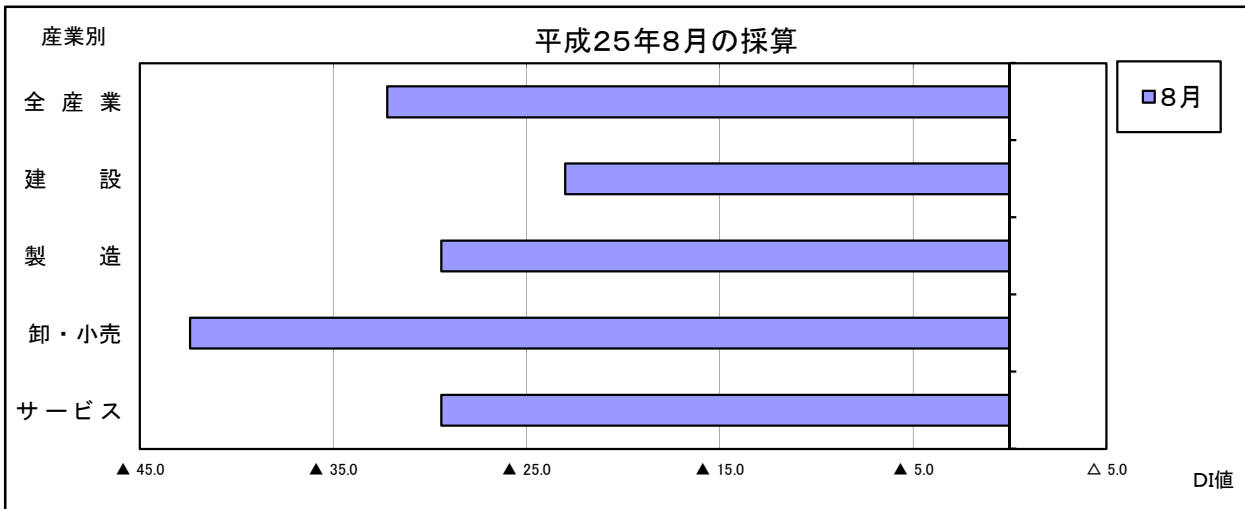
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、製造業▲29. 4(同▲35. 2)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業▲29. 4(同▲7. 1)、建設業▲23. 0(同▲7. 6)、卸小売▲42. 4(同▲36. 1)であり、サービス業はマイナス幅が▲22. 3ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲11. 8(前月水準▲12. 9)となり、マイナス幅が△1. 1ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、製造業±0. 0(同▲23. 5)であり、マイナス幅が△23. 5ポイントと大幅に縮小する見通しである。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、サービス業▲5. 8(同▲14. 2)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、建設業△7. 6(同△11. 5)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲36. 3(同▲25. 0)である。

平成25年8月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成25年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲17.3	▲35.9	▲21.9	▲20.2	▲23.6	▲32.2	▲11.8(▲12.9)
建設	▲26.0	▲26.0	▲12.5	▲27.2	▲7.6	▲23.0	△7.6(△11.5)
製造	±0.0	▲27.7	▲38.8	±0.0	▲35.2	▲29.4	±0.0(▲23.5)
卸・小売	▲26.4	▲61.1	▲33.3	▲38.2	▲36.1	▲42.4	▲36.3(▲25.0)
サービス	▲5.8	△8.3	△6.2	△6.2	▲7.1	▲29.4	▲5.8(▲14.2)



【平成25年8月の仕入単価についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲46. 2(前月水準▲46. 2)となり、マイナス幅が±0. 0と変らなかった。

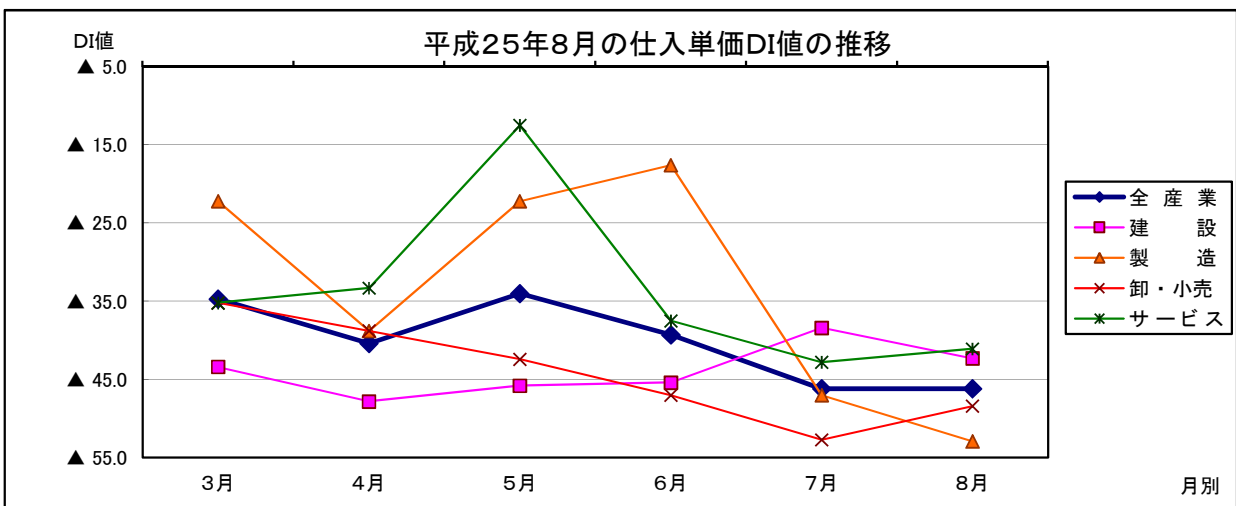
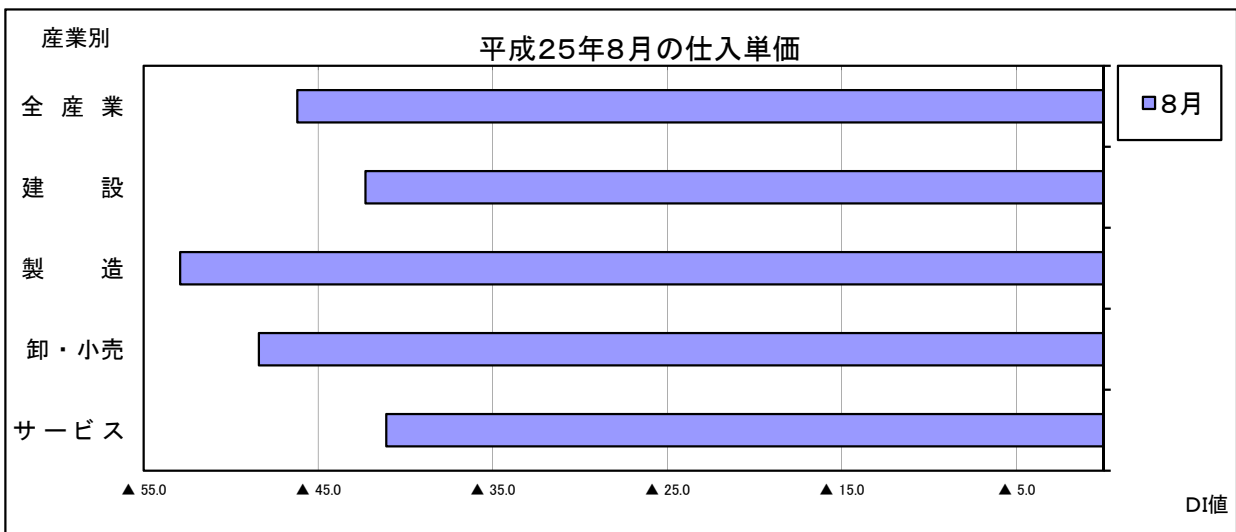
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲48. 4(同▲52. 7)、サービス業▲41. 1(同▲42. 8)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲52. 9(同▲47. 0)、建設業▲42. 3(同▲38. 4)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲37. 6(前月水準▲38. 7)となり、マイナス幅が△1. 1ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲23. 0(同▲34. 6)、製造業▲29. 4(同▲35. 2)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲54. 5(同▲47. 2)、サービス業▲35. 2(同▲28. 5)である。

平成25年8月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	平成25年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月 (8月~10月)
全産業	▲ 34.7	▲ 40.4	▲ 34.0	▲ 39.3	▲ 46.2	▲ 46.2	▲ 37.6 (▲ 38.7)
建設	▲ 43.4	▲ 47.8	▲ 45.8	▲ 45.4	▲ 38.4	▲ 42.3	▲ 23.0 (▲ 34.6)
製造	▲ 22.2	▲ 38.8	▲ 22.2	▲ 17.6	▲ 47.0	▲ 52.9	▲ 29.4 (▲ 35.2)
卸・小売	▲ 35.2	▲ 38.8	▲ 42.4	▲ 47.0	▲ 52.7	▲ 48.4	▲ 54.5 (▲ 47.2)
サービス	▲ 35.2	▲ 33.3	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 42.8	▲ 41.1	▲ 35.2 (▲ 28.5)



【平成25年8月の従業員についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲2.1(前月水準±0.0)となり、プラス幅が▲2.1ポイント縮小した。

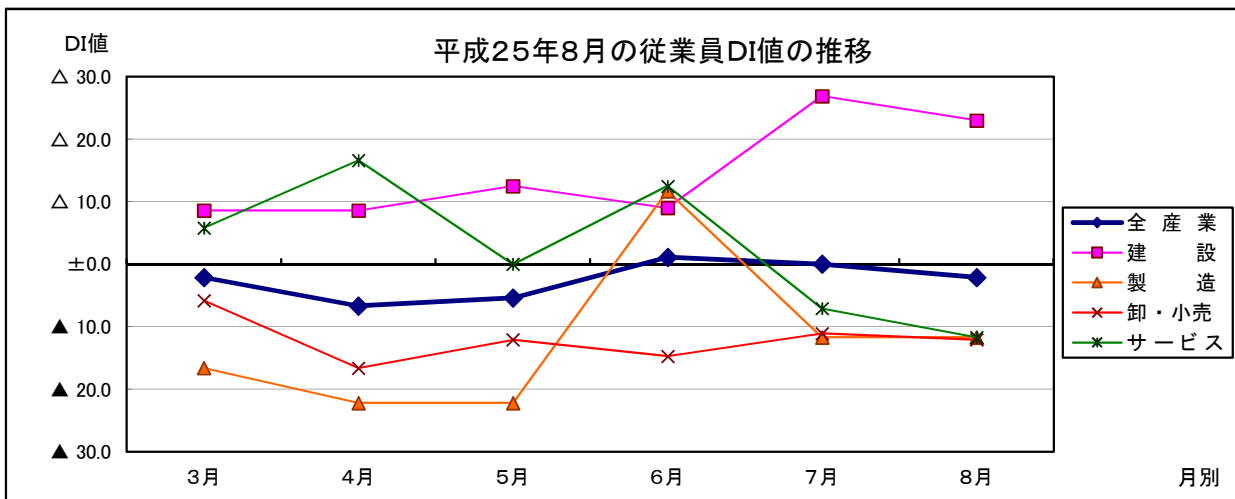
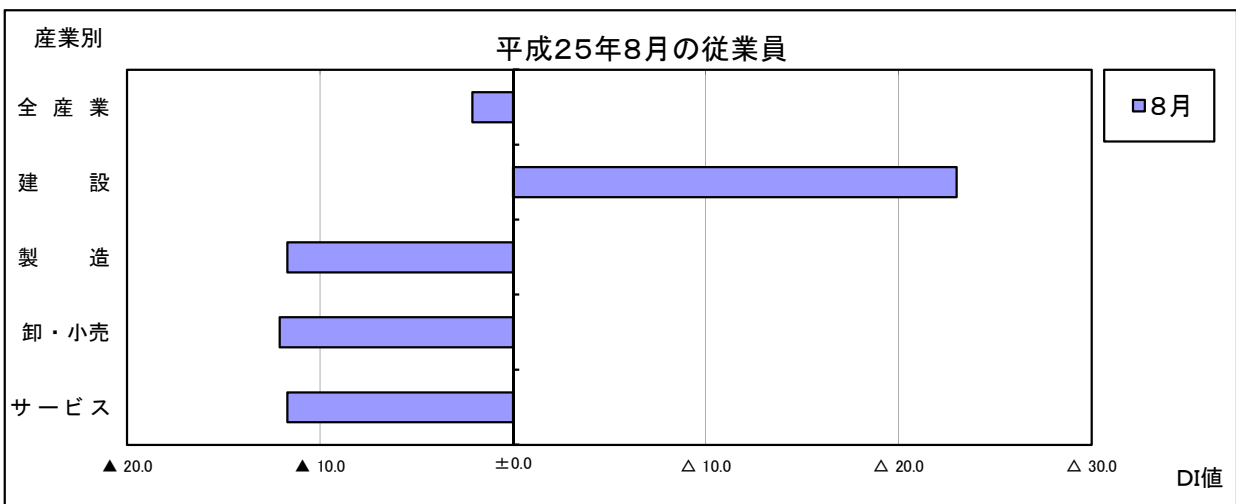
業種別では、前月水準と比べて、変らない業種は、製造業▲11.7(同▲11.7)である。プラス幅が縮小した業種は、建設業△23.0(同△26.9)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲11.7(同▲7.1)、卸小売業▲12.1(同▲11.1)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、△5.3(前月水準△4.3)となり、プラス幅が△1.0ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、製造業±0.0(同▲5.8)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲3.0(同▲5.5)、サービス業▲5.8(同▲7.1)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、建設業△26.9(同△30.7)である。

平成25年8月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成25年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲2.1	▲6.7	▲5.4	△1.1	±0.0	▲2.1	△5.3(△4.3)
建設	△8.6	△8.6	△12.5	△9.0	△26.9	△23.0	△26.9(△30.7)
製造	▲16.6	▲22.2	▲22.2	△11.7	▲11.7	▲11.7	±0.0(▲5.8)
卸・小売	▲5.8	▲16.6	▲12.1	▲14.7	▲11.1	▲12.1	▲3.0(▲5.5)
サービス	△5.8	△16.6	±0.0	△12.5	▲7.1	▲11.7	▲5.8(▲7.1)



【平成25年8月の資金繰りについての状況】

○ 8月の全産業計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲17. 2(前月水準▲9. 6)となり、マイナス幅が▲7. 6ポイント拡大した。

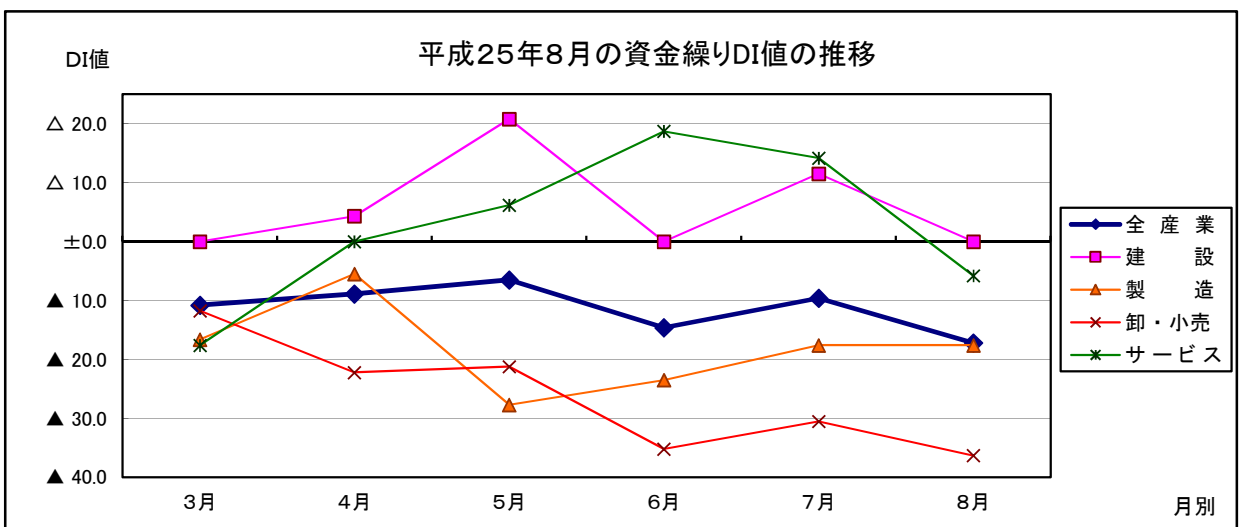
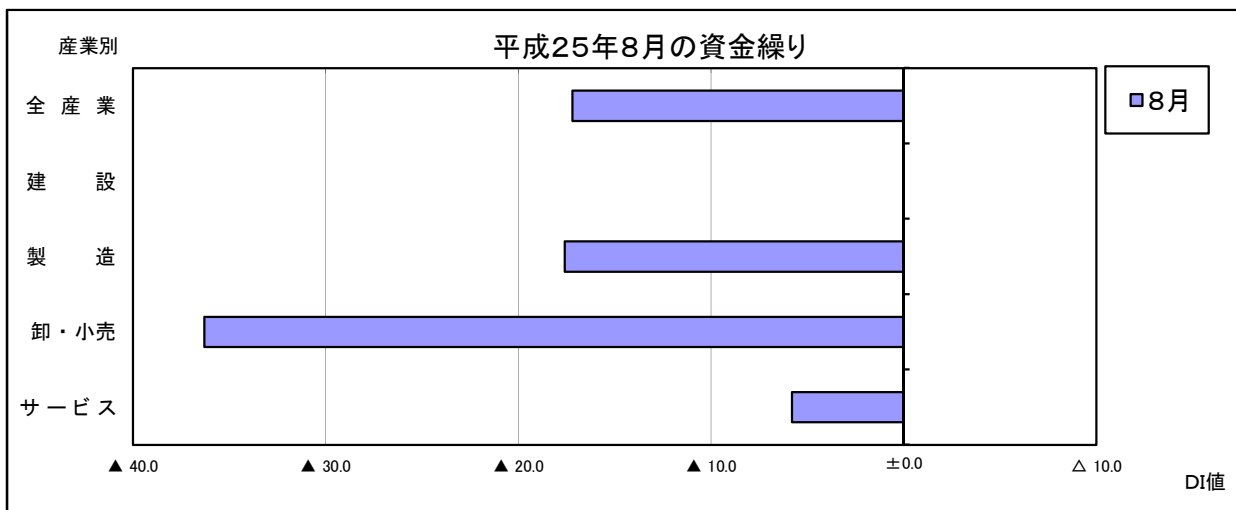
業種別では、前月水準と比べて、変らない業種は、製造業▲17. 6(同▲17. 6)である。プラス幅が縮小した業種は、建設業±0. 0(同△11. 5)である。プラスからマイナスに転じた業種は、サービス業▲5. 8(同△14. 2)であり、マイナス幅が▲20. 0ポイントと大幅に拡大した。マイナス幅が拡大した業種は、卸小売業▲36. 3(同▲30. 5)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲7. 5(前月水準▲10. 7)となり、マイナス幅が△3. 2ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲11. 7(同▲29. 4)、卸小売業▲24. 2(同▲25. 0)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業△7. 6(同△11. 5)、サービス業△5. 8(同△7. 1)である。

平成25年8月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成25年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲10.8	▲8.9	▲6.5	▲14.6	▲9.6	▲17.2	▲7.5(▲10.7)
建設	±0.0	△4.3	△20.8	±0.0	△11.5	±0.0	△7.6(△11.5)
製造	▲16.6	▲5.5	▲27.7	▲23.5	▲17.6	▲17.6	▲11.7(▲29.4)
卸・小売	▲11.7	▲22.2	▲21.2	▲35.2	▲30.5	▲36.3	▲24.2(▲25.0)
サービス	▲17.6	±0.0	△6.2	△18.7	△14.2	▲5.8	△5.8(△7.1)



【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 19.3	△ 8.6	▲ 32.2	▲ 11.8	▲ 46.2	▲ 37.6	▲ 2.1	△ 5.3
建設	▲ 3.8	△ 38.4	▲ 23.0	△ 7.6	▲ 42.3	▲ 23.0	△ 23.0	△ 26.9
製造	▲ 11.7	△ 23.5	▲ 29.4	±0.0	▲ 52.9	▲ 29.4	▲ 11.7	±0.0
卸・小売	▲ 33.3	▲ 18.1	▲ 42.4	▲ 36.3	▲ 48.4	▲ 54.5	▲ 12.1	▲ 3.0
サービス	▲ 23.5	±0.0	▲ 29.4	▲ 5.8	▲ 41.1	▲ 35.2	▲ 11.7	▲ 5.8

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 21.5	△ 1.0	▲ 17.2	▲ 7.5
建設	△ 3.8	△ 23.0	±0.0	△ 7.6
製造	▲ 17.6	△ 5.8	▲ 17.6	▲ 11.7
卸・小売	▲ 45.4	▲ 18.1	▲ 36.3	▲ 24.2
サービス	▲ 17.6	±0.0	▲ 5.8	△ 5.8

【平成25年8月の業種別業界内トピックス】

業種別	概況		業種
建設業	4月からずっと受注の少ない月が続いている。一部には駆け込み需要増との話もあるようだが、いままでになく受注は少なく、さらに工期の延期もある。駆け込み需要というより、様子をみている感が強い。下期の受注はほぼ決まっているので、工程のバランスの悪さが益々顕著である。職人不足は何年も前から言われており、工期の平準化を各方面へお願いしているが、全く改善されない。	受注減少 工期の延期 人出不足	石れんがタイルブロック工事業
	売上高は増加しているが、材料・その他経費の増大に利益は薄い。景気回復の実感が無く、早く末端まで好況感がほしい。	売上げ増加 材料費増加 薄利 景気回復実感無し	電気工事業
	8月中旬は暑さにより、熱中症対策をとった為、労働力が低下し、人件費が予定より増えてしまった。受注量はそれなりだが、あいかわらず予算的にはきつい。	熱中症対策 労働力の低下 人件費増加 受注量不変 厳しい予算	塗装工事業
	依然、材料高騰分の施工単価の見直しはない。受注工事件数は増加しているが、消費税決定後の工事件数の不安がある。原材料が石油製品の為、今後の輸入材料の入手での高騰が心配である。ガソリンや消耗品の値上げもあり、経費も削減出来ない。	材料費高騰 施工単価不変 受注増加 消費税 経費削減	その他の職別工事業
	当社では現在従業員が不足しているが、景況が今後良いかがわからないので、下請け等で対応している。	人出不足 景気の動向 下請け	土木工事業
	猛暑の為か、休みが多かった為か、景況が悪化。住宅メーカーの新規置工事が増えているのが救い。9月は、お彼岸前の畳工事注文に期待しています。	猛暑の影響 景況悪化 お彼岸 畳工事増加	内装工事業
	9月はお客様の半期の決算月で、仕事量が多く間に合わない。キャパオーバー。10月は落ち着いてくと思う。	仕事量増加	その他の職別工事業
製造業	受注・引合が上向きだが、どれも短納期である。	受注増加 短納期	その他の機械・同部品製造業
	インターネット商法が盛んになって来た昨今、価格競争が一段と厳しくなってきた。創意工夫をこらさないと売上高になっても利益を上げられない結果になることもある。	インターネット 価格競争 創意工夫	印刷業
	正規から非正規(派遣社員)への切り替えを実施しております。	非正規社員へ切り替え	電子応用装置製造業
	円安による材料仕入れ価格が上昇傾向、秋口は更に上昇の可能性高い。仕入れ価格上昇を販売価格に転嫁出来ず利益圧迫している。全体量も減少している。	円安の影響 材料費上昇 価格転嫁 利益圧迫	紙製容器製造業
	中旬までは前年並みで推移も、お盆明け以降天候不順もあり苦戦。ただし、地域連動で8/25(日)開催の“柏街ごとキッザニア”は、出足雨にもかかわらず動員・売上効果はもちろんのこと、多くの親子さんに好評をいただき満足して帰っていただくことができ、地域の活性化につながった。(動員数前年同曜日対比 127%)高額品については宝飾・時計の好調が継続。	盆明け 天候不順 柏街ごとキッザニア 動員・売上げ効果 地域の活性化 高額品販売好調	百貨店
	暑さ厳しく日中人出少なく、午前中と夕方の商売となっている。カットソー類は順調に消化、羽織物が出ていないがジャケット代わりに数年ぶりにブラウスが品薄となっている。	猛暑の影響 ブラウス品薄	婦人・子供服小売業
	残暑厳しく、売れているのは食品の涼味商品ばかりだが、衣料・住まいの品では夏物の残り物となり値下げをしても売れていない。夏物の秋色カラーの動きが多少ではあるがでてきている。	猛暑の影響 涼味商品好調	その他の各種商品小売業
	8月度初旬は暑さも厳しかったことからセール商材の消化に繋がったほか、晩夏初秋物のプロパー商材が動いたことから、売上高は順調な推移となった。11日にクリアランスが終了したが、お盆休みによる帰省客などファミリー客が増加し、レストランを中心に好調であった。昨年23日から実施したイベントは今年29日から開催。イベントの集客力を活かし、他業種への波及効果を図り売上に繋げていく。	猛暑の影響 セール 売上げ順調 盆休み 帰省客 レストラン好調	その他の各種商品小売業

【平成25年8月の業種別業界内トピックス】

卸小売業	燃料費の高騰がやや戻しつつある。当初の好景気「感」の再来を期待している。	燃料費 好景気を期待	その他の各種商品小売業
	例年にも増す暑さにより売上は昨年より減少。この先の好転も期待薄。	猛暑の影響 売上げ減少	菓子・パン小売業
	客数・売上共に微増、天候の影響が大きい。暑い夏だった為、アイス・ソフトドリンク・冷麺等が良く売れた。	客数・売上げ微増 猛暑の影響 涼味商品販売好調	その他の各種商品小売業
	猛暑の影響大、生物売上減	猛暑の影響 売上げ減少	菓子・パン小売業
	最近の天候が猛暑やゲリラ豪雨や干ばつと異常気象となっており、青果物に大きな影響が出ています。現在は主要品目(野菜)に育成の遅れがあり品薄傾向から高値基調、果実においても、一部豪雨の産地被害が出ているが、今後出荷予想のみかん、りんごに影響が出てきそうです。夏祭りやイベントに消費を期待したいが、今後の消費税の動きも気になる状況から、景気が良くなる傾向に歯止めがかからないように見守りたい。また、TPPも年内の動きになりそうでも併せて動向を見ながら、市場取引を図りたい。いずれにしても安心・安全な青果物を提供できるよう努力をしていきます。	猛暑の影響 異常気象 青果物の育成 野菜の育成 高値基調 イベントに期待 消費税の動向 TPP	食料・飲料卸売業
	8月もどさくさに紛れて33件のまとまった物件が同業他社に移り、ざっと計算しても1月から約200件位の消費者が減少している。自然減と合算すると非常に怖い減少率です。増やす努力はしていますが、歯が立たない強敵が多く非常に苦戦している。	同業他社 顧客減少	燃料小売業
大手メーカー昇降機新規着工は、技術者不足で新規製品の受注調整を行っている為、我々中小企業に新規製品据付依頼が多くなってきている。来年4月まで、製品価格の上昇が期待される。	大手メーカー 人不足 依頼増加 価格上昇に期待	一般機械器具卸売業	
サービス業	円安による原材料の価格が上昇、国内では異常気象の為、野菜価格の高止まり。私共の店の周りでは、大変多くの建設工事、学校の修繕工事等が盛んに行われていますが、期待薄。じわりじわり上がってゆく物価、値上げが出来ない個人店舗は厳しい。	円安の影響 異常気象 物価の値上がり 販売価格 個人店舗苦戦	食堂・レストラン
	野菜、輸入食材の値上げが原価を圧迫。宿泊は、稼働は維持するものの販売経路のWeb比率が高くなり、一室単価を下げる要因となる。宴会は、昨年売り上げを維持。	材料値上げ Web販売 単価下落 宴会昨年並み	ホテル
	ここにきて原材料の高騰による値上げの理解と協力願いの通知が多くなっています。(特にビニール加工品の靴、バック、定番の衣類)なかには、消費税を意識してか8%ジャストの値上がり品もあり、すぐに売価に転嫁できず、在庫の手当て保管が大変。※つくばエクスプレスの開通後沿線を中心に大型スーパーの出店で弁当、惣菜部門の強化により飲食関係に影響がでている。	原材料高騰 価格転嫁 消費税	その他の飲食料品小売業
	個人需要:国内は9月・11月が前年超え、海外は10月が前年150%超え。信州・中四国・九州・アメリカ・ヨーロッパ・オセアニア・ハワイ・東南アジア・グアム・サイパンが人気。法人需要:ここへ来て、秋口の団体旅行が増えてきた。	個人旅行好調 法人需要増加	旅行業
	猛暑のせいか、お客様からの問合せが減っています。仕入れ単価は上昇しており、売値は変わらないので採算は悪化しています。	猛暑の影響 問合せ減少 仕入れ単価上昇 売価不変 採算悪化	不動産管理業
	個人向け集合住宅をやっていることから言えるのですが、夏は外出していた世帯が多かった分、秋のレジャーは控えるのではないかと思います。水不足は心配です。	水不足	不動産賃貸業

【平成25年8月の業種別業界内トピックス】

<p>団塊世代の定年退職が始まり労働人口が本格的に減少し始めたとのこと。柏においては、然程感じないことですが、これから益々女性の社会進出がカギになると思います。その為にも子育て支援に力を入れた行政と地元企業の福利厚生等の支援等が重要になると思います。予算のかかる問題ですが本腰を入れて取り組んだ行政や企業が生き残る気がします。</p>	<p>団塊世代 労働人口の減少 女性の社会進出 子育て支援</p>	<p>不動産賃貸・管理業</p>
<p>予想どおり、好転せず。大手企業の動きはもがいていて(ねらいが定まらず)チャレンジすることにためらっていると思える。商品を創り出すことが勝利の道かも。</p>	<p>業況不変</p>	<p>ソフトウェア業</p>

◎猛暑の影響

- ・ 猛暑の為か、休みが多かった為か、景況が悪化。 内装工事業
- ・ 暑さ厳しく日中人出少なく、午前中と夕方の商売となっている。 婦人・子供服小売業
- ・ 残暑厳しく、売れているのは食品の涼味商品ばかりだ。 その他の各種商品小売業
- ・ 8月度初旬は暑さも厳しかったことからセール商材の消化に繋がった。 その他の各種商品小売業
- ・ 例年にも増す暑さにより売上げ昨年より減少。この先の好転も期待薄。 菓子・パン小売業
- ・ 客数・売上共に微増、天候の影響が大きい。暑い夏だった為、アイス・ソフトドリンク・冷麺等が良く売れた。 その他の各種商品小売業
- ・ 猛暑の影響大、生物売上げ減。 菓子・パン小売業
- ・ 最近の天候が猛暑やゲリラ豪雨や干ばつと異常気象となって、青果物に大きな影響が出ています。 食料・飲料卸売業
- ・ 猛暑のせいか、お客様からの問合せが減っています。 不動産管理業

◎材料費上昇

- ・ 売上高は増加しているが、材料・その他経費の増大に利益は薄い。 電気工事業
- ・ 依然、材料高騰分の施工単価の見直しはない。 その他の職別工事業
- ・ 仕入れ価格上昇を販売価格に転嫁出来ず利益圧迫している。 紙製容器製造業
- ・ 野菜、輸入食材の値上げが原価を圧迫。 ホテル

◎人出不足

- ・ 職人不足は何年も前から言われており、工期の平準化を各方面にお願いしているが、全く改善されない。 石工れんがタイルブロック工
- ・ 現在従業員が不足しているが、景況が今後良いかがわからないので、下請け等で対応している。 土木工事業
- ・ 大手メーカー昇降機新規着工は、技術者不足で新規製品の受注調整を行っている。 一般機械器具卸売業











平成25年8月CCI-LOBOとの比較











- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲21.5に対し、「CCI-LOBO」が▲15.7で柏の方がマイナス幅が5.8ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、製造業。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業、サービス業、建設業で、卸小売業は10ポイント以上悪い。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲19.3に対し、「CCI-LOBO」が▲8.6で、柏の方がマイナス幅が10.7ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は製造業。「柏の景気」の方が悪い業種はサービス業、建設業、卸小売業で、いずれの業種も10ポイント以上悪い。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲32.2に対し、「CCI-LOBO」が▲18.9で、柏のほうがマイナス幅が13.3ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、製造業。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業、建設業、サービス業で、いずれの業種も10ポイント以上悪い。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲46.2に対し、「CCI-LOBO」が▲47.8で、柏の方がマイナス幅が1.6ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、サービス業で、建設業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業、製造業で、卸小売業は10ポイント以上悪い。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲2.1に対し、「CCI-LOBO」が△7.1で、柏の方がマイナス幅が9.2ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業。「柏の景気」の方が悪い業種は、サービス業、卸小売業、製造業で、いずれの業種も10ポイント以上悪い。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲17.2に対し、「CCI-LOBO」が▲12.0で、柏の方がマイナス幅が5.2ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、サービス業。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業、製造業で、卸小売業は10ポイント以上悪い。











平成25年8月の木の景気天気図











木の景気情報と全国CCI-LOBOとの比較











景気天気図					
	特に好調 DI \geq 50	好調 50>DI \geq 25	まあまあ 25>DI \geq 0	不振 0>DI \geq ▲25	極めて不振 ▲25>DI











業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
木の景気	 ▲ 21.5	 △ 3.8	 ▲ 17.6	 ▲ 45.4	 ▲ 17.6
CCI-LOBO	 ▲ 15.7	 3.9	 ▲ 20.7	 ▲ 25.8	 ▲ 10.2

売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
木の景気	 ▲ 19.3	 ▲ 3.8	 ▲ 11.7	 ▲ 33.3	 ▲ 23.5
CCI-LOBO	 ▲ 8.6	 14.1	 ▲ 17.5	 ▲ 18.3	 ▲ 2.1


採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
木の景気	 ▲ 32.2	 ▲ 23.0	 ▲ 29.4	 ▲ 42.4	 ▲ 29.4
CCI-LOBO	 ▲ 18.9	 ▲ 7.4	 ▲ 24.4	 ▲ 23.7	 ▲ 14.7

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
木の景気	 ▲ 46.2	 ▲ 42.3	 ▲ 52.9	 ▲ 48.4	 ▲ 41.1
CCI-LOBO	 ▲ 47.8	 ▲ 60.0	 ▲ 52.6	 ▲ 35.9	 ▲ 46.9

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
木の景気	 ▲ 2.1	 △ 23.0	 ▲ 11.7	 ▲ 12.1	 ▲ 11.7
CCI-LOBO	 △ 7.1	 △ 15.3	 ▲ 1.0	 △ 8.8	 △ 11.9

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
木の景気	 ▲ 17.2	 ±0.0	 ▲ 17.6	 ▲ 36.3	 ▲ 5.8
CCI-LOBO	 ▲ 12.0	 ▲ 7.8	 ▲ 13.2	 ▲ 13.8	 ▲ 10.6

 は「木の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「木の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測(8月速報)

調査期間：平成25年8月16日～22日

調査対象：全国の417商工会議所が3127業種組合等にヒアリング調査を実施

全国の業況

業況DIは、回復基調続くも足元では一進一退で推移

8月の全産業合計の業況DIは、▲15.7と、前月から▲1.6ポイントの悪化。燃料や原材料の価格上昇・高止まりが長期化し、電力料金などの負担増が続く中、依然として景気回復の実感が得られていないとの声根強い。一方、公共工事や住宅関連が下支えする建設業のほか、消費者マインドの好転や外国人観光客の増加により観光関連では好調が続く。売上の堅調な推移を背景に、中小企業の景況感は総じて回復基調が続いているものの、仕入価格の上昇が採算悪化を招き、今一段の業況改善の足かせとなるなど、足元では一進一退の動きとなっている。

先行きについては、先行きについては、先行き見通しDIが▲12.7(今月比+3.0ポイント)と、改善する見込み。仕入価格の上昇や燃料費・電力料金などのコスト増に伴う収益圧迫が続いていることから、一部では先行きに対して慎重な姿勢がみられるものの、堅調な建設業や

観光関連が全体を押し上げているほか、製造業でも自動車や住宅関連などで持ち直し傾向が続いており、回復基調は継続するとみられる。

産業別にみると、今月の業況DIは前月に比べ、サービス業で改善、その他の4業種で悪化した。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「住宅などの受注が集中し、人手が不足しているものの、消費税引き上げに伴う駆け込み需要後の反動を考えると安易に増員できない」(一般工事業)、「災害対策などの公共工事の入札が短期間に集中。資金や人手の調整がつかず、受注は一部に止まっている」(一般工事業)、「市や県からの受注が増加しているが、燃料価格の上昇分を転嫁できず、収益を圧迫」(土木工事業)

【製造業】「電力料金や燃料費などの負担が増しているものの、取引先からのコストダウン要請が多く、厳しい状況」(金属加工機械製造業)、「建設機械向けなど、売上は

好調。他方で、受注単価が伸び悩んでおり、期待ほど利益が上がっていない」(鉄鋼業)、「売上は好転しているものの、銅材などの値上げが見込まれるため、経費削減や生産の効率化に注力する」(自動車部品製造業)

【卸売業】「猛暑や豪雨の影響により、野菜の品質が悪く、今後の仕入への影響を懸念」(農産物卸売業)、「仕入価格上昇分の転嫁は半分程度に止まっている。受注を確保するためには、これ以上の価格転嫁はできない」(食料品卸売業)、「住宅向けなどの受注は好調に推移しているものの、来年度以降の落ち込みを懸念」(建築資材卸売業)

【小売業】「夏物衣料や冷感グッズなどは堅調だったものの、消費者の節約志向は根強く、業況改善には至っていない」(百貨店)、「原材料価格が高止まりしているものの、贈答用を中心に売れ行きは好調」(和菓子販売店)、「猛暑により、日中の来店客数が減少し、売上が伸び悩んだ」(商店街)

【サービス業】「飲料の受注が例年以上の水準となったが、輸送単価が低く、燃料費の上昇もあり、収益に結びついていない」(運送業)、「帰省客の利用が好調だったこともあり、来店客数は通常の3倍近くに上った」(飲食店)、「近隣の都市を含め、観光客が大幅に増加。売上も好調に推移した」(旅館業)

全国・産業別業況DIの推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
3月	▲19.7	▲6.4	▲27.4	▲15.7	▲25.4	▲17.2
4月	▲15.2	2	▲24.4	▲15.7	▲25.9	▲7.3
5月	▲17.1	1.6	▲20.7	▲20.4	▲29.1	▲12.8
6月	▲17.3	0.8	▲19.6	▲29.3	▲26.4	▲13.5
7月	▲14.1	6	▲15.8	▲20.7	▲22.8	▲14.4
8月	▲15.7	3.9	▲20.7	▲26.8	▲25.8	▲10.2
見通し	▲12.7	3.1	▲11.8	▲23.5	▲22.1	▲11.5

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI